人 地域の環境整備に一役買う

虻田高校バレー部

洞爺湖町は、北海道洞爺湖サミットを契機に「洞爺湖環境基本条例」を制定しました。その中で、環境の保全や景観の保持を行い、後世に引きついでいくことが謳われています。

虻田高校バレー部は、約10年前からこの精神を先取りして、地域の美化活動を実践してきました。

現在の合宿所である、旧月浦小学校舎周辺の通学前の早朝草刈りやゴミ拾いは、代々引き継がれ、同部の伝統的な行事となっています。

井上信門監督が「月浦神社はバレー部の守り神」と言うように、夏合宿前の月浦神社周辺の草刈、ゴミ拾いも同様に先輩から後輩に受継がれ、冬期間には除雪活動もしています。

このような個々の身の回りの地道な活動こそが、町全体の環境保全につながっていくことになるのではないでしょうか。

地域の環境美化活動を進める虻田高校バレー部の選手ら

人事異動

（10月1日） ※Gはグループ

▽企画防災課長（議会事務局長）大西康典▽企画防災課参事＝地域振興担当（社会教育課主幹）鈴木清隆▽観光振興課長（企画防災課長）澤登勝義▽観光振興課参事＝観光振興担当（観光振興課主幹）佐々木清志▽健康福祉課主幹（総務課管財・情報G主査）唯木浩明▽住民課主幹（住民課長補佐兼国保医療係長）杉上繁雄▽総務課庶務・職員G主査（総務課庶務・職員G主任）高橋謙介▽企画防災課企画防災・広報統計G主査（企画防災課広報統計係長）岡田英之▽企画防災課地域振興G主査（住民課住民係長兼交通防犯係長）高橋淳一▽企画防災課企画防災・広報統計G主査（企画防災課企画防災係長）兼村憲三▽企画防災課企画防災・広報統計G主査兼行財政改革推進室主査（企画防災課企画防災係主任）佐々木勉▽税務財政課税務G主査（税務財政課税務G主任）仙波貴樹▽税務財政課税務G主査（企画防災課行財政改革推進室主査）末永弘幸▽住民課住民・戸籍年金G主査（住民課戸籍年金係長）小林美智子▽住民課住民・戸籍年金G主査（上下水道課管理・営業G主査）金子真優美▽健康福祉課地域包括支援センター支援G主査（健康福祉課地域包括支援センター支援G主任）藤川英之▽観光振興課観光振興G主査（観光振興課観光振興G主任）川越大助▽上下水道課管理・営業G主査（管理課学校教育G主査）細江幸恵

■教育委員会

▽社会教育課主幹（健康福祉課主幹）天野英樹▽管理課学校教育G主査（財務財政課税務G主査）高橋憲史

■議会義務局

▽議会事務局長（観光振興課長）佐藤正人

（係長職以上）

協定を交わす真屋町長と苫小牧事業所長及川秀治さん

災害時に情報発信として活用
災害対応型自販機町内5カ所に設置

町は、防災の一環として北海道コカコーラボトリング株式会社と「災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定」を締結し、9月27日役場で手交式が行われ、町内5カ所に設置されることになりました。

設置場所は、役場庁舎内ザミット記念館、水の駅道の駅とうや湖、ウロコあぶた店の5カ所。

この自動販売機は、電光掲示板を通じて文字情報が表示でき、平常時には防災情報や地域情報を配信し、緊急時には災害情報の配信のほか自動販売機内の飲料水が無料提供できる仕組みになっています。

町では、災害への備えの一つとして、今後活用していく考えです。